

資料6 消防学校の教育訓練に関する現況調査

調査概要

1 概要

それぞれの論点における課題や基準改正ニーズを抽出、整理するとともに、課題解決に向けたヒントを得ることを目的に、消防学校等に対し調査を実施するもの

2 調査対象

- (1) 全消防学校（54校）
- (2) 各消防本部（自前で消防学校を設置している政令指定都市消防本部及び東京消防庁を除く、711本部）
- (3) 消防職団員（無作為抽出）

3 調査期間

概ね1か月間

（第1回検討会で方針をご了解いただいた後、速やかに調査票を作成し調査を開始）

調査項目:消防学校向け調査項目

各設問の頭の記号は、以下の回答形式を示す。

●：選択肢（単一選択） ○：選択肢（上限なし複数選択） ◆：数値記入
⑤：5段階評価 ◎：選択肢（上限あり複数選択） ◇：自由記述

- 論点1 「教科目及び単位時間数の精査」に関すること
- 問1 ◆◇ 各教育訓練の実績（実施回数、延べ学生数、延べ時間数）R2～R7
- 問2 ◇ 毎年実施していない教育訓練がある場合、実施していない理由
- 問3 ●◇ 初任教育の総時間（800時間）について増減が必要か。（必要な場合は意見及び理由）
- 問4 ◆◇ 各教育訓練の標準カリキュラムに定める教科目の実施時間数（各教育訓練の直近の実績）
- 問5 ○◇ 現行の標準カリキュラムにおいて単位時間数が不足している分野とその理由
- 問6 ⑤◇ 安全管理に関する教育について、十分に行われているか。（十分でない場合、十分でない教育訓練と具体的な内容）
- 問7 ○◇ 現行の標準カリキュラムにおいて単位時間数を縮減してもよい分野とその理由
- 問8 ○◇ 現行の標準カリキュラムに定めはないが、独自に実施している教科目
- 問9 ◇ 今後、基準に明示すべきと考える新たな教科目とその理由
- 問10 ◇ 今後、基準から削除すべきと考える教科目とその理由
- 問11 ○ 各幹部教育（消防職団員）の対象となる階級
- 論点2 「各消防学校の実情を踏まえた通学教育の検討」に関すること
- 問12 ◆ 学生寮の宿泊定員（男女別）
- 問13 ● 各教育訓練において入寮制と通学制のどちらを原則としているか
- 問14 ◇ 例外で通学を認めている場合、その要件
- 問15 ● 例外で通学を認めている場合、その判断基準を明文化しているか
- 問16 ◎ 入寮による教育上の効果として重視しているものは何か（例：規律、団体生活、団体行動等）
- 問17 ○ 入寮制度について、現在課題となっていることは何か
- 問18 ○◇ 入寮を必須とすべき教育訓練とその理由
- 問19 ○◇ 通学を認めても差し支えない教育訓練とその理由
- 論点3 「教育ニーズの実態に即した教員数の基準の適正化」に関すること
- 問20 ◆ 教員数の推移（R2～R7）
- 問21 ● 現在の教員数は、教育訓練の実施に十分か
- 問22 ● 現在の教員算定基準により算定した教員数は、教育訓練の実施に十分か
- 問23 ○ 教員不足により実施困難となっている教育訓練、教科目はあるか
- 問24 ●◇ 教員不足により安全管理面で支障が生じた事例はあるか
- 問25 ●◇ 実科訓練時の安全管理も含めた教員配置の基準を設けているか（設けている場合、その具体的な内容）

調査項目:消防学校向け調査項目

- 論点4 「消防学校に備えるべき施設、教材及びデジタル媒体の検討」に関すること
- 問26 ●◇ 教育訓練施設、教材及び教具の整備状況（未整備のものは整備しない理由） 実践的訓練施設については施設の細分を問います。
- 問27 ○◇ 現行の基準に定める施設、教材及び教具において、削除してもよいと考えるものとその理由
- 問28 ◇ 今後基準に明示すべきと考える新たな施設、教材及び教具とその理由
- 問29 ○◇ 現在教育訓練をICT活用しているか（eラーニング・LMS、デジタル教科書、動画教材、VR・AR、その他）
- 問30 ○ ICT導入によりどのような効果が得られたか
- 問31 ○ ICT導入で期待していたほど効果が得られていないのはどのようなことか
- 問32 ◇ 期待していたほど効果が得られていないのはなぜだと考えるか
- 問33 ○ ICT導入の課題は何か（予算、教員のスキル、通信環境、セキュリティ、受講者側の環境、その他）
- 問34 ◇ 今後望まれるICTを活用した教育環境はどのようなものか
- 問35 ○◇ 今後、実践的訓練施設の整備について具体的な整備計画があるか（整備計画がある場合は整備時期を記載）
- 問36 ◎◇ 社会環境や災害様態の変化に伴い、実践的訓練施設のうち、必要度・優先度が高い施設は何か（保有する施設も含めて回答）
- 問37 ◇ 「必要性が高いと考えられる実践的訓練施設※」に示す施設以外に必要な訓練施設はあるか
※資料2-3「消防学校における実践的訓練施設」に示す訓練施設
- 論点5 「教員の質等を担保するための基準のあり方」に関すること
- 問38 ●◇ 教員の任用において、具体的な要件を定めているか（定めている場合、具体的内容）
- 問39 ○◇ 教員の要件について基準に明示する場合、どのような要件を設けるべきか（実務経験年数、保有資格、研修歴、その他）
- 問40 ●◇ 新たに教員として任用する者に対する、事前の研修を行っているか（行っている場合は、実施内容、実施期間）
- 問41 ●◇ 教員として任用後に、継続して研修を行っているか（行っている場合は、実施内容、実施期間、実施タイミング等）
- 問42 ○ 教員の要件を基準に明示した場合の懸念は何か
- 論点6 「消防学校間の広域連携による教育訓練等のあり方」に関すること
- 問43 ◇ 他の消防学校との連携・協力の具体的事例（例：専科教育の講師としての人材派遣、訓練施設を活用した合同訓練、実践的訓練施設の共同整備等）
- 問44 ○ 連携・協力により得られた効果は何か
- 問45 ●◇ 他の消防学校との連携・協力を検討したことがあるか（検討したことがない場合は、その理由）
- 問46 ○◇ 連携・協力を行う上での課題は何か（例：学校間の距離があるため訓練施設の利用は難しい、自本部だけで消防学校の利用が多いため、他の消防学校と共同利用は難しい等）
- 問47 ○◇ 広域的な連携・協力による効果として何を期待するか（例：専科教育の講師ができる人材の派遣、実践的訓練施設の使用等）
- 論点7 「女性の活躍推進の観点を踏まえた教育訓練及び施設整備のあり方」に関すること
- 問48 ● 女性専用施設、設備の整備状況
- 問49 ◆ 教育訓練ごとの女性消防吏員、女性消防団員の受入実績
- 問50 ● 女性を対象とした、女性活躍推進に資する教育訓練を設けているか（実施している場合は、4(1)アにおける各教育訓練の実績欄で回答）
- 問51 ●◇ 女性を含めた、多様な人材の活躍に資する教育を男女問わず実施しているか（実施している場合は、対象となる教育訓練種別、実施内容、単位時間数）

調査項目:消防本部向け調査項目

基本情報

- ◆ 年間の消防学校入校者数実績（R2～R7、教育訓練種別ごと）
- ◇ 独自研修の有無（有の場合は具体的な研修内容）

各設問の頭の記号は、以下の回答形式を示す。

- ：選択肢（単一選択）
- ：選択肢（上限なし複数選択）
- ◆：数値記入
- ⑤：5段階評価
- ◎：選択肢（上限あり複数選択）
- ◇：自由記述

論点1「教科目及び単位時間数の精査」に関すること

- 問1 ⑤ 消防学校の初任教育は、必要な基礎能力を十分に育成できているか
- 問2 ○ 初任教育修了者について、不足を感じるのとはどのようなところか（例：安全管理、救助、救急、消火活動能力、C B R N E 対応、予防等）
- 問3 ⑤◇ 専科教育は、現場ニーズに十分適合しているか（適合していない場合は、適合していない教育訓練と具体的な内容）
- 問4 ⑤◇ 幹部教育は、幹部に求められる能力が十分に養成されているか（十分でない場合は、十分ではない教育種別と具体的な内容）
- 問5 ⑤◇ 消防団員教育における各教育訓練は、必要な能力が十分に養成されているか（十分でない場合は、十分ではない教育種類・種別と具体的な内容）
- 問6 ⑤◇ 安全管理に関する教育について、十分に行われているか。（十分でない場合、十分でない教育訓練と具体的な内容）

論点2「各消防学校の実情を踏まえた通学教育の検討」に関すること

- 問7 ⑤ 入寮は教育上有益だと思うか
- 問8 ○◇ 入寮により得られる効果は何か
- 問9 ○◇ 入寮制度の課題は何か
- 問10 ⑤ 通学を選択できる制度が必要だと思うか
- 問11 ○ 通学を認めるべき事情は何か
- 問12 ○ 入寮を必須とすべき教育は何か
- 問13 ○ 自由記述
- 問14 ◇ 入寮制度を見直す場合、消防本部として懸念する事項はあるか

論点3「教育ニーズの実態に即した教員数の基準の適正化」に関すること

- 問15 ● 教員・指導者の人数は十分だと思うか
- 問16 ● 消防学校教員経験は、消防本部の人材育成上有益だと思うか
- 問17 ○◇ 消防本部から消防学校に教員を派遣することについての課題は何か

調査項目:消防本部向け調査項目

論点4 「消防学校に備えるべき施設、教材及びデジタル媒体の検討」に関すること

- 問18 ⑤ 消防学校の施設、教材、教具は教育訓練場十分に整備されていると思うか
- 問19 ○◇ 不足していると考える施設、教材、教具は何か
- 問20 ●◇ 消防本部が保有する施設を消防学校の教育訓練に活用しているか（ある場合はその内容）
- 問21 ⑤ 動画教材、オンライン教材、シミュレーション教材は有効だと思うか
- 問22 ⑤ 受講前にオンラインで基礎知識を学習できる仕組みは有効だと思うか
- 問23 ◇ ICT活用により特に効果が期待できる教育訓練、教科目は何か

論点5 「教員の質等を担保するための基準のあり方」に関すること

- 問24 ○◇ 消防学校教員に期待する能力は何か
- 問25 ● 消防学校教員に一定の資格要件を設けることは必要か
- 問26 ◇ 消防学校教員の資格要件を設けた場合に消防本部として懸念事項はあるか

論点6 「消防学校間の広域連携による教育訓練等のあり方」に関すること

- 問27 ⑤ 広域的な消防学校間の協力・連携は必要だと思うか
- 問28 ◎ 広域的な消防学校間の協力・連携により特に効果が期待できそうなのは何か
- 問29 ● 職員に他地域の消防学校で教育訓練を受けさせることは可能か
- 問30 ○ 職員に他地域の消防学校で教育訓練を受けさせる場合の課題は何か

論点7 「女性の活躍推進の観点を踏まえた教育訓練及び施設整備のあり方」に関すること

- 問31 ○ 女性の活躍推進の観点で、消防学校に期待することは何か
- 問32 ⑤ 消防学校において、女性活躍に資する教育が十分に行われていると思うか
- 問33 ○ 十分に行われていないのは何か

調査項目:消防職団員向け調査項目

抽出方法

- ・ 論点1から論点6については、消防吏員600名、消防団員600名に対し調査を行い、論点7については女性消防吏員600名、女性消防団員600名を対象に調査を実施
- ・ 各本部の年齢、性別の構成比に応じた割り振りにするなど、一部の回答者に偏らないように依頼

※調査の信頼水準（標本誤差±5%）を満たすためには400の回答が必要。令和7年度に消防庁が実施した「消防本部における女性活躍推進に関する検討会」で消防本部等に対する調査の回収率が75%であったことから、多めに見積もり600名に対し調査を実施

属性情報

- ◇ 所属する消防本部または消防団
- 年齢（20代以下、30代、40代、50代以上）
- ◆ 職務経験年数
- 階級
- 性別
- ◆ 受講した教育訓練、受講年度、入寮・通学の別

各設問の頭の記号は、以下の回答形式を示す。

- ：選択肢（単一選択）
- ：選択肢（上限なし複数選択）
- ◆：数値記入
- ⑤：5段階評価
- ◎：選択肢（上限あり複数選択）
- ◇：自由記述

論点1 「教科目及び単位時間数の精査」に関すること

- 問1 ⑤ 受講した教育訓練は、現在の業務に役立っているか（これまで受講・経験した消防学校の教育訓練全体を通じた総合的な評価）
- 問2 ○◇ 特に役立った教育訓練は何か（特に役に立った内容）
- 問3 ○◇ 実務に出てから不足を感じた教育訓練は何か（不足を感じた内容）
- 問4 ○◇ もっと時間を増やしてほしかった教育訓練は何か（増やしてほしい内容）
- 問5 ○◇ 時間を減らしてもよいと感じた教育訓練は何か（減らしてもよい内容）
- 問6 ● 座学と実技のバランスは適切だったか
- 問7 ● 現場活動を想定した訓練は十分だったか（不十分だと思う教育訓練）
- 問8 ● 安全管理に関する教育は十分だったか（不十分だと思う教育訓練）
- 問9 ◇ 今後新たに追加してほしい教育内容は何か

論点2 「各消防学校の実情を踏まえた通学教育の検討」に関すること

- 問10 ⑤ 入寮は教育上有益だと思うか
- 問11 ○ 入寮により得られる効果は何か
- 問12 ○ 入寮で負担に感じたことは何か
- 問13 ⑤ 通学を選択できる制度が必要だと思うか
- 問14 ○ 通学を認めるべき事情は何か
- 問15 ○ 入寮を必須とすべき教育は何か
- 問16 ○ 一部オンラインや通学でもよいと思う教育訓練は何か。
- 問17 ○ 入寮環境で改善してほしい点は何か

調査項目:消防職団員向け調査項目

論点3 「教育ニーズの実態に即した教員数の基準の適正化」に関すること

- 問18 ⑤ 教員・指導者の人数は十分だったか
- 問19 ⑤ 実技訓練時、安全管理は十分だったか
- 問20 ⑤ 訓練中に危険や不安を感じた場面はあったか
- 問21 ○ 教員数が不足していると感じた教育訓練は何か

論点4 「消防学校に備えるべき施設、教材及びデジタル媒体の検討」に関すること

- 問22 ⑤ 教室、訓練施設、宿泊施設等消防学校の施設は十分だと思うか
- 問23 ○◇ 不足又は改善が必要と感じた施設は何か
- 問24 ⑤ 教材、教具は十分だったか
- 問25 ○◇ 不足又は改善が必要と感じた教材、教具は何か
- 問26 ⑤ 動画教材、オンライン教材、シミュレーション教材は有効だと思うか
- 問27 ⑤ 受講前にオンラインで基礎知識を学習できる仕組みは有効だと思うか
- 問28 ○◇ ICTを活用してほしい教育訓練、教科目は何か

論点5 「教員の質等を担保するための基準のあり方」に関すること

- 問29 ⑤ 教員の説明は分かりやすかったか
- 問30 ⑤ 教員は実務経験に基づいた指導を行っていたか
- 問31 ⑤ 教員の指導は公平、適切だったか
- 問32 ⑤ 教員に質問、相談をしやすかったか
- 問33 ○ 教員に期待することは何か
- 問34 ○ 教員に改善してほしいと思うことは何か

論点6 「消防学校間の広域連携による教育訓練等のあり方」に関すること

- 問35 ⑤ 消防学校間の広域的な協力・連携により、他地域の消防学校で教育訓練を受ける機会があるとしたら、それは自身にとって有益だと思うか
- 問36 ○◇ 消防学校間の広域的な協力・連携によりどのようなことが期待できるか
- 問37 ○◇ 他地域の消防学校で教育訓練を受ける場合、負担として考えられるものは何か

論点7 「女性の活躍推進の観点を踏まえた教育訓練及び施設整備のあり方」に関すること

- 問38 ⑤ 性別にかかわらず安心して受講できる環境だったか
- 問39 ⑤ 更衣室、浴室、トイレ、寮室等の設備は十分だったか
- 問40 ⑤ 教育訓練において、不公平や配慮不足を感じたことはあるか
- 問41 ◇ 不公平や配慮不足を感じた部分について具体的に
- 問42 ⑤ 消防学校において、女性活躍に資する教育が十分に行われていると思うか
- 問43 ○◇ 消防における女性活躍をより一層推進するために、消防学校において取り組むべき事項は何か